

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【公表番号】特表2013-511785(P2013-511785A)

【公表日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-016

【出願番号】特願2012-540364(P2012-540364)

【国際特許分類】

G 06 T 15/80 (2011.01)

G 06 F 19/00 (2011.01)

G 01 N 21/47 (2006.01)

【F I】

G 06 T 15/80

G 06 F 19/00 1 1 0

G 01 N 21/47 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月18日(2013.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

異種成分からなる関与媒質によって散乱された光の量の推定のための方法であって、2つの連続する階層のレベルの間で少なくとも1つの方向にしたがって、前記媒質中の前記光の減衰差を表す誤差情報の少なくとも1つの項目にしたがって空間細分割の複数の階層のレベルの中から前記媒質の空間細分割の少なくとも1つのレベルを選択するステップと、

少なくとも1つの散乱方向に沿った前記媒質のサンプリングによって散乱された前記光の量を推定するステップであって、前記サンプリングは前記少なくとも1つの選択した空間細分割レベルに依存する推定するステップと

を含む、前記方法。

【請求項2】

前記少なくとも1つの散乱方向に沿った位置にある前記媒質の少なくとも1つの点によって散乱された前記光の前記減衰を表す少なくとも第1の値を推定するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記少なくとも1つの散乱方向に沿った位置にある前記少なくとも1つの点内で前記光の少なくとも1つの放出方向にしたがって少なくとも1つの光源から受け取られる前記光の前記減衰を表す少なくとも第2の値を推定するステップを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

誤差情報の前記少なくとも1つの項目は、2つの第1の値の比較によって決定され、前記2つの第1の値は前記媒質の2つの連続する階層の空間細分割レベルに対してそれぞれ推定される、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

誤差情報の前記少なくとも1つの項目は、2つの第2の値の比較によって決定され、前

記 2 つの第 2 の値は前記媒質の 2 つの連続する階層の空間細分割レベルに対してそれぞれ推定される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

前記誤差情報をしきい値と比較するステップを含む、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

誤差情報の前記少なくとも 1 つの項目が前記しきい値よりも小さい場合には、選択した前記空間細分割レベルは、最も高い階層の位置の前記レベルに対応する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

異種成分からなる関与媒質によって散乱された光の量の推定のために構成された装置であって、

2 つの連続する階層のレベルの間で少なくとも 1 つの方向にしたがって、前記媒質中の前記光の減衰差を表す誤差情報の少なくとも 1 つの項目にしたがって空間細分割の複数の階層のレベルの中から前記媒質の空間細分割の少なくとも 1 つのレベルを選択するための手段と、

少なくとも 1 つの散乱方向に沿った前記媒質のサンプリングによって散乱された光の前記量を推定するための手段であって、前記サンプリングは前記少なくとも 1 つの選択した空間細分割レベルに依存する、推定するための手段と

を備える、前記装置。

【請求項 9】

前記プログラムがコンピュータ上で実行されるときに請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の前記方法のステップを実行するためのプログラムコードの命令を備える、コンピュータプログラム製品。

【請求項 10】

コンピュータによって読み取り可能な記憶装置であって、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の前記方法のステップを実行するために前記コンピュータによって実行可能なプログラムコードの命令を記憶する、前記記憶装置。